

経済学演習Ⅱ

必修 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

「新興市場経済(特にアジア)の金融問題」に興味のある人、このテーマで修士論文を書こうと考えている人を、想定した授業です。

経済発展における金融の役割について、マクロ面(経済成長と金融機能)とミクロ面(銀行、証券市場、企業)から学びます。

具体的な事例を用いて、基礎的な分析手法も学びます。

2. 授業の到達目標

①東・東南アジア諸国の金融発展について、課題を発見しそれを解決する方法を考え提案できる。

②言語能力と論理的思考力を高め、それを基にプレゼンテーションすることができる。

③他者との協働に参加し自分の考えを発表できる。

④東・東南アジア諸国の金融発展について、調査し発表できる。

3. 成績評価の方法および基準

ゼミでの質問・議論・報告への参加度(50%)と、期末に提出する研究計画書(50%)から、評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

奥田・三重野・生島 『新版 開発金融論』 日本評論社

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

報告者は、相談して決めた文献・資料を丁寧に読んで、報告用のメモを作成してきてください。

それ以外の参加者は、疑問点をリストアップしてきてください。

6. その他履修上の注意事項

毎回、参加することが履修条件です。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション:ゼミナールの進めかたを相談して、具体的な予定を決めます。以下は、暫定的な予定の一案です。

【第2回】 途上国の企業金融:資金調達

【第3回】 途上国の企業金融:ガバナンス

【第4回】 途上国の企業金融:東南アジア諸国の事例(1)

【第5回】 途上国の企業金融:東南アジア諸国の事例(2)

【第6回】 マイクロ・ファイナンス:インフォーマル金融とマイクロ・ファイナンスの仕組み

【第7回】 マイクロ・ファイナンス:事例研究

【第8回】 経済発展と海外資金の役割:民間資金と公的資金

【第9回】 経済発展と海外資金の役割:債務問題と援助

【第10回】 レポート(研究計画書)の作成:テーマの選択

【第11回】 レポート(研究計画書)の作成:アウトラインの報告

【第12回】 レポート(研究計画書)の作成:進行状況の報告

【第13回】 レポート(研究計画書)の作成:進行状況の報告

【第14回】 レポート(研究計画書)の作成:中間報告

【第15回】 レポート(研究計画書)の作成:最終報告